龍乃宮津

全

108
227

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

叙

鍬形蕙齋如一略畫をもて世尓
知られ形をうつすに筆よいふる意斌運ひ
なからんことをかこつ一毫をもおろそかに
をしえなき鮮妙乃生寫ていと書林
申椒堂梓尓上せむことを思ひそ

社中の発句を乞得顕を需むさりや
此類の法帖先著名きみしも
何らねと佳形状而已ならず市中法
魚肆小児の如し今茲子精神を
もととをいまを滑稽乃淵小躍
らむ又諧語の浪よ楽を乱ハ妖ふの
就閑ま朝を静ひ見え半年を

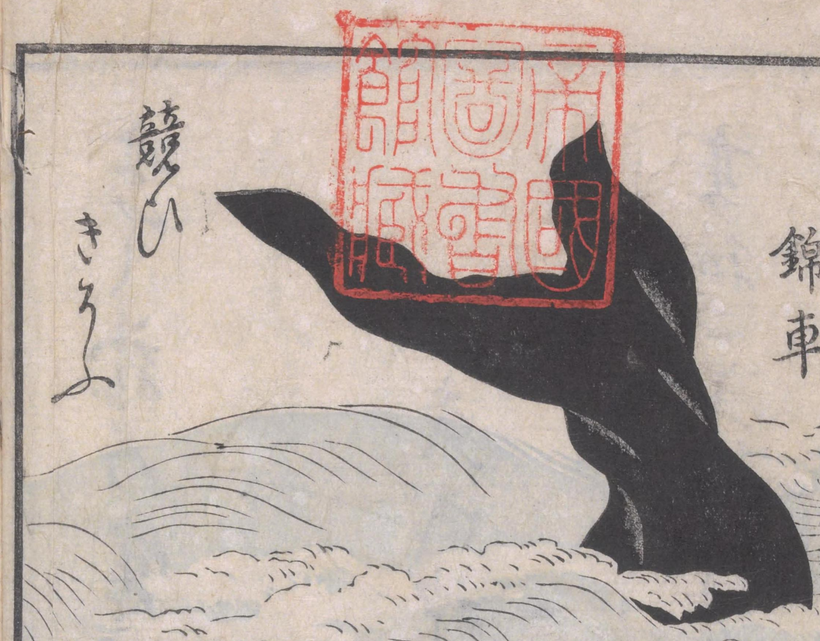
よて就乃宮津子と号し
典え侍ふ事栄

東武神田玉池
一陽井素外述

享和二年壬戌夏

錦車

競ひきそふ



一番重を
そ
鯨

冬共
汐くも
什ふ
三熊野や
大くも
社

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

冠車女

鯛

亀幸

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

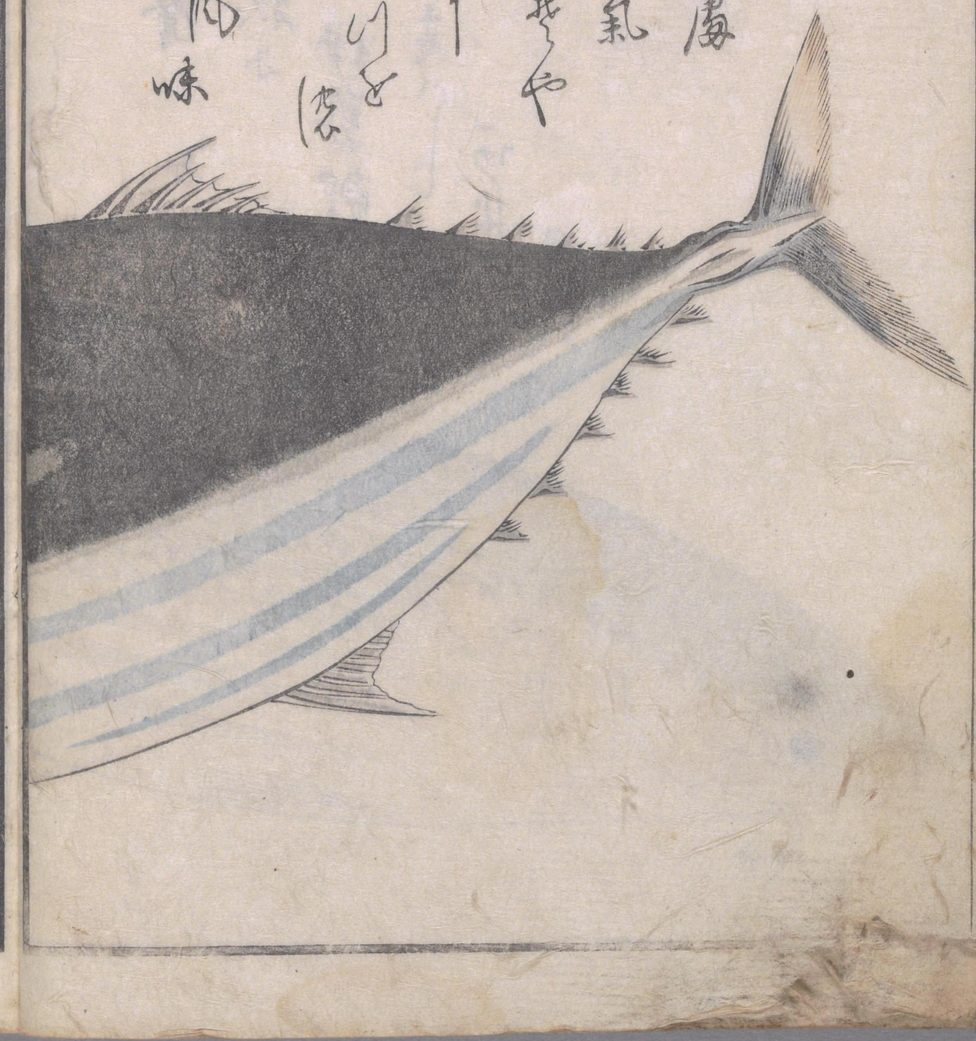
国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

如水

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

梅鶯
江戸氣
花や
人々
かいを
初
風味



梅秀女
着船乃
いきおひ
あらし
の
ごとく

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

亀長

舫鋪中

上里甕

腮

乃

張

五枡

そろほよ

の

頬骨

高見

寒

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

文榮

伊勢武者ゑひす

かさり海老

亀年

海老冷油

只二節乃

美聲廣

涼山

二枚

まこも

茶なす

あこや

鯖鯛

素琴女

吸もの

さより

鯛乃

児ぶり

琴恵女

墨もじ

青葉よし

姫小多

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

呉龍

大磯や
ぬくてもふぐ
手ぬぐひも
ふぐ

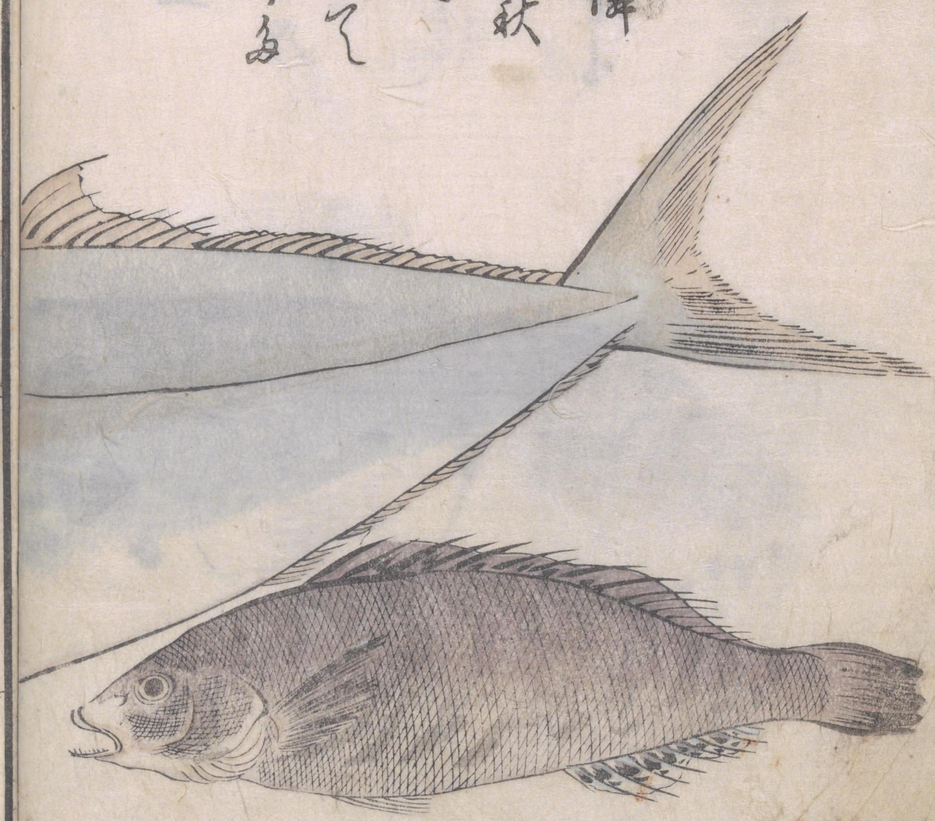
素玉

虎河豚乃
さかや
艘ふぐ
ふぐ
と

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

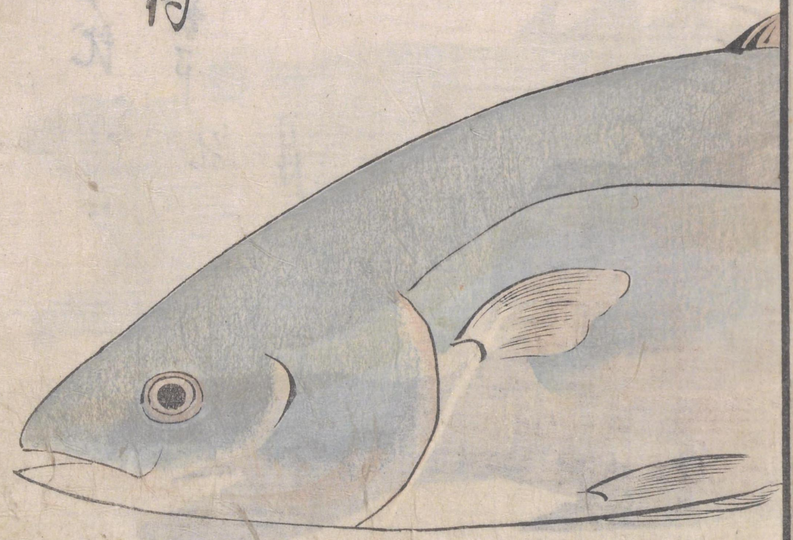
素隆

来ぶかや秋
いろまさる
ひらて
伊那名
船



江永

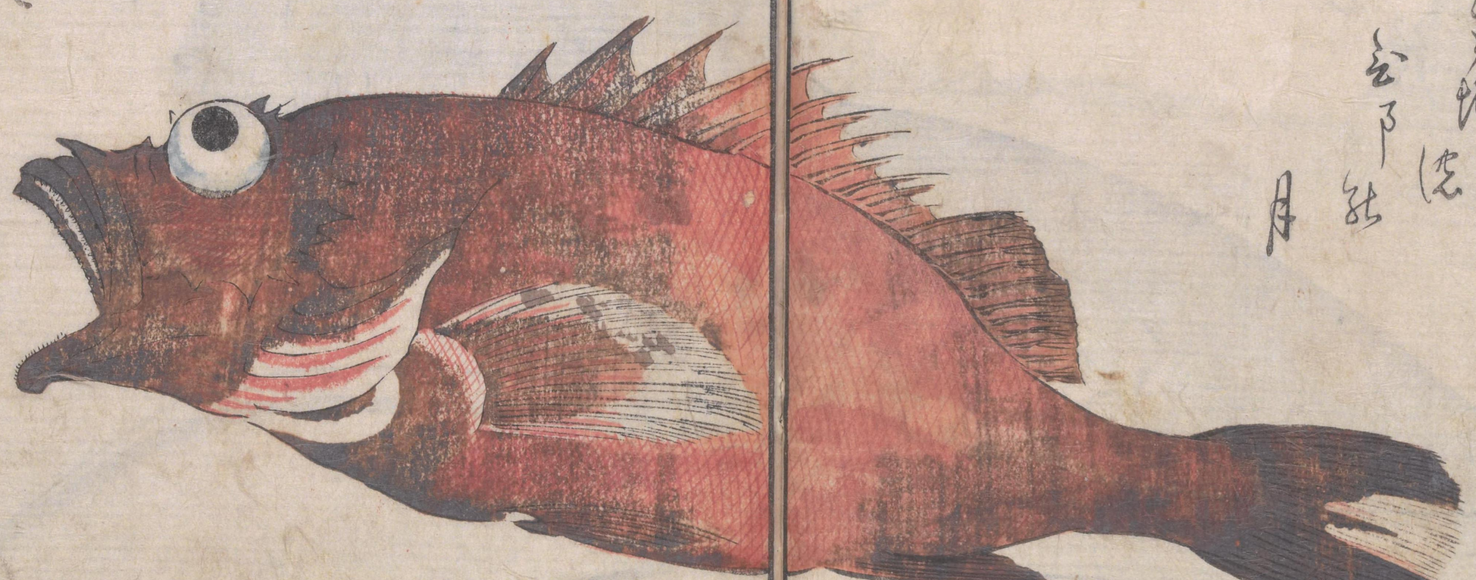
満ち干法
汐あい
かめ
や
秋乃
約



国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

玉鳴

雛魚乃目



額英

釣や妻

恵比次乃

計ひ

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

霞外

下陰小赤之
ごとく
茎ナ
酒

一鯛
魨
櫻
赤
鱓ナ
亦
花乃時

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

沂水

茹揚し章魚や
行う兒も

花ハつく

杏英

いひ名たや
ものも
かゝら陸おもき

春律

蕨たこやおうら
雛ゐまつもの

壷子這入てし
いし鶯や外く云
ひそ女賀童

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

素蛾

岩ふ蛇這ふや汐干潟
片ゑ石

月磨

さゝら〳〵や
芝乃ゑしく
汐干潟

手枝尼

掌中の珠や
蜆をふく味噌

篤志磨

蛤乃ふきや揚ゑも
山の秋かぜ

酔舎

海底の珠ゑ
蛇ゑ照月夜

雅涼

名貝や中ふ蛇居
まそこ綺中ふ

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

白魚よなどを漁る
うなぎ

得磨

鰍もぐりしまや
泥中乃
もぐらもち

亀磨

水よ俟も亀魚
ふしぎ俟美濃

蒼鯉

見沙人も師走
宮落しうなぎ釣

素蓬

名月や泥鰌乃
躍る池水面

左幸

永き日の泥す
俵そやうなぎ

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

貝乃津ふさえハ
笠の口紅粉を
侯得共

赤辛螺や
澤渡 文川
浦よりの〳〵と

角ほとハ変も
片そ徳菩薩
藩山

ほうほしや掌入
志賀の特好
素原

魚いら紀や鰹徳
中よし烏帽子
素丘

巣螺〳〵角出せ
棒出勢
夜白雨 麹人

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

鰹節屋酒宴の
かまち引
巳禮

初鰹
動く
鯨ゟ苔雨
雉乃
かまめ石

寛之

爽暖乃
清らや
鰹汁
醒
坊主

見栄ゟ
大口明て
なまりを

渭水

茗乃新小袖を
肴ゟ茶を
大鰹　六外

みそこ西施小めろ
ちろりを鯨　遥瀬

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

雪よ日乃もと哥

富士の　素永

沖津鯛

あら多いや　可笑
鯛もよるより
うまはうま

縞鯛や
市小麦めく
夏牛日[illegible]　孫川
素行

綾者や　白石
姿よし　春船
沖津多い

荒海　春瓜
や
うまい海鯛も
春の風

八丈もよ紀　大橋
亀泉
春うらのはくうたい

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

海鞘ぞ小いよ〳〵
青し鈎乃鰭
婆百

そんなみい小深しや
はそ底青海波
何来

蕨ぞ酢そみて青葉
乙そそ〳〵鯵も
栗外

夕そそや鰭乃垂めも
夏衣　金馬

夕ぐもや松魚な
並ん
江戸法
鰹
煮后

日ハ栗小　鯨乃恕
ふ涙そし　岩槻
五計

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

其氣味を地と四季
　　舟子

秋空ときそふ
青にしるきみそれ
　　雨簾

きそふ鳳中とてや
云いの乃鮮る後
　　久虹

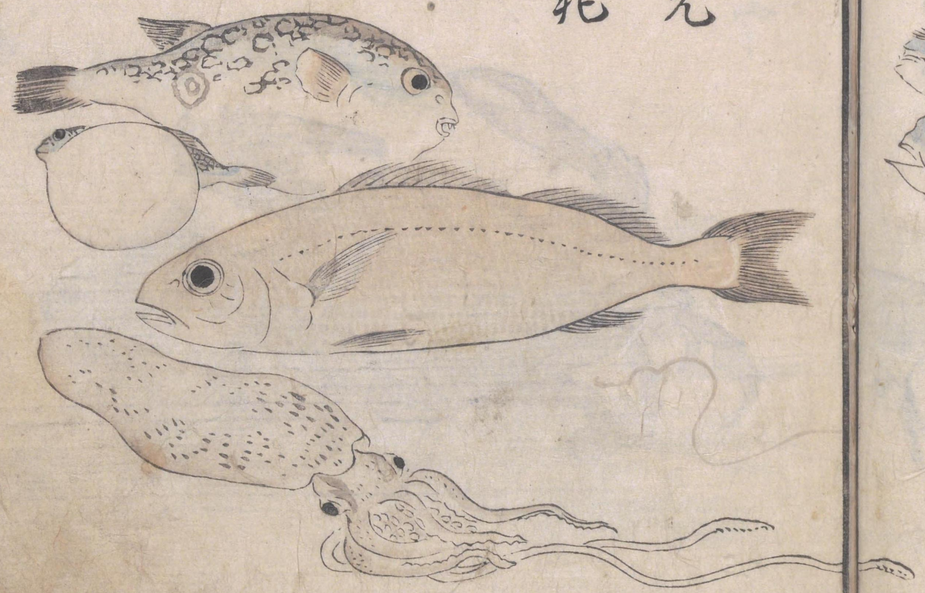
まやくさんや女法

子ども痩こそ
　　可亮

芝海老や袴着　煮北
ちろも齢ひ腰

いしもち牙程く
それも海もし
　　島原
　　煮文

ぎちと潜や納涼
かてら乃細小森
　　龜水



国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

穴かしこ汐干ふ見そめ
いそもの鰒
神橋 亀泉

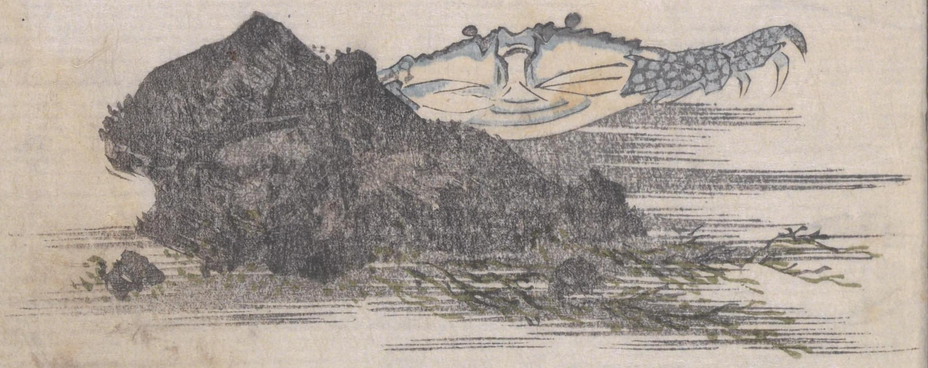
蔭や花かみや
短う紀ゐの色
素仙

ふくき伸る涼
芦辺底蠣乃泡
雀声

汐干しく思ふ
妻歩行
島山

岩狭むさく
見そめ芦小蟹
素潮

兼もの春やかなも
初汐来ゐ雪
素百



国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

荻と見む
うき紫の
鳥賊吐息

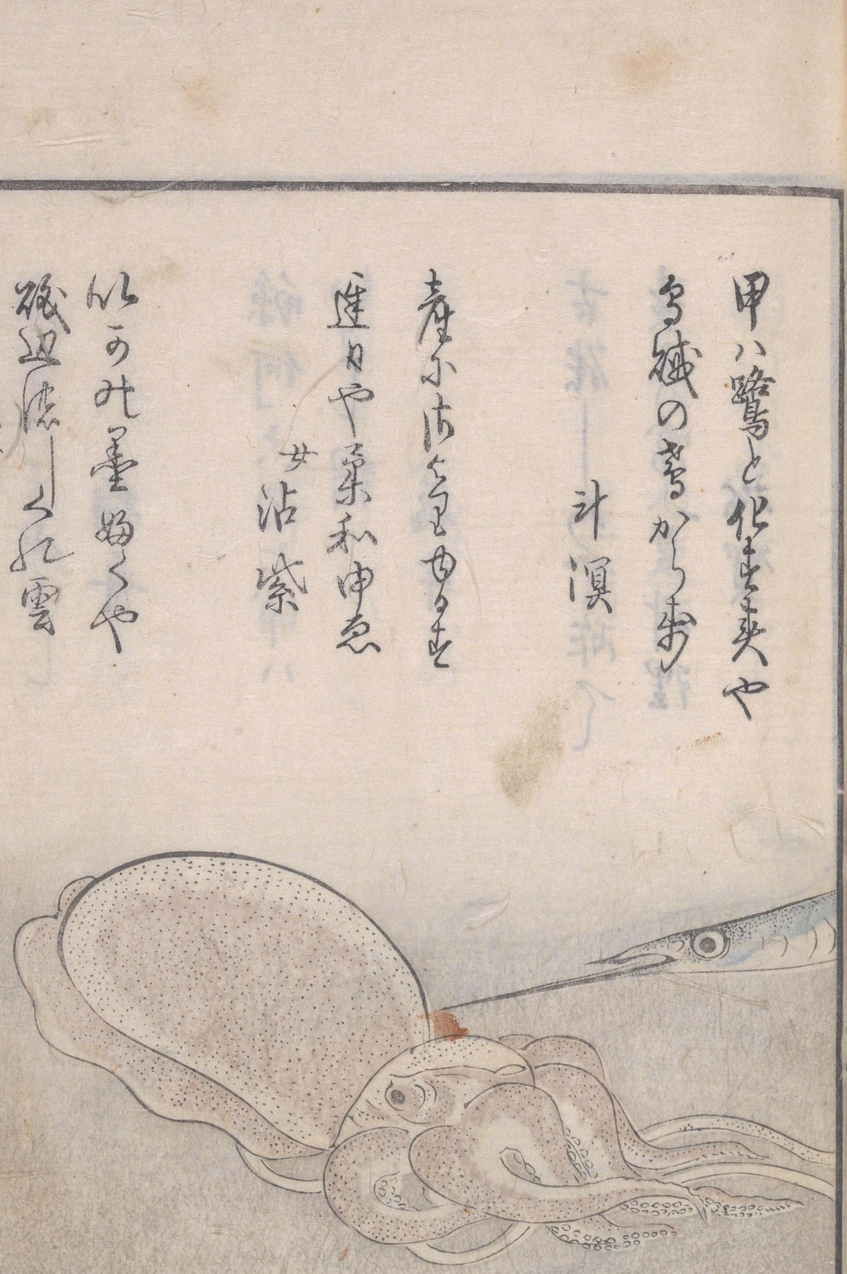
志連

なのふかつを時よ
声諸向鬼さうを

操舟

夷風や雪きめく
烏賊かいろの不平

夷逸



甲八驚と化生夷や
多賊の客から歩

汁溟

春ふかき雨うを
追々や菜和神恋

女沾紫

仏の外墨筆くや
祇迎法一ト文雲

鎌倉 英富

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

鯛乃上ノ半ノ席も
下ノ半ノ席も多し

稲舟

鯵何ぞの七浦ハ
いさし網

萬宇

古能一ろや酢て
煮ろ喰ふ夏料理

松賀

鰯引堂守もよ
医者とのを

星高

鮭うをや漬てなの
ろとも呼ぬ
静く

遠寝やおきる法
上よおきぬ石

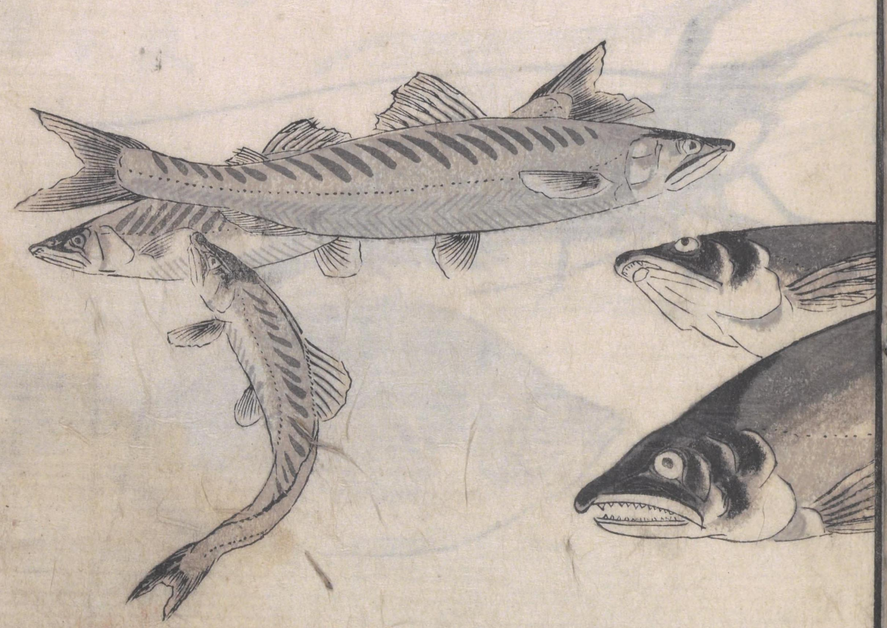
岩槻 雀郎

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

鮎くさ乃名所尓も
知られて著ふ乃
呉郷

玉川の珠と落
蛍や年魚乃網
乃香

取る猟る亀洗
早川や市の鮎
僊里



貢へ来る海なき
国と
廉富

川乃鮎

渋あるやかいく
笹ハ夷乃
泉居

水乃精乃ふる
石ふ音有
鮎
百我

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

賢き坂子料理や
多古こ汁
素周

百二百まのこと
そも乃釣功者
恭梁

先ツ鮪 柏舟
を釣乃そはや
玩地川

行燈小
きし
多古
大の
細土産 下谷 煮行

角力なら四ツよ
そらむき長海老
梅史

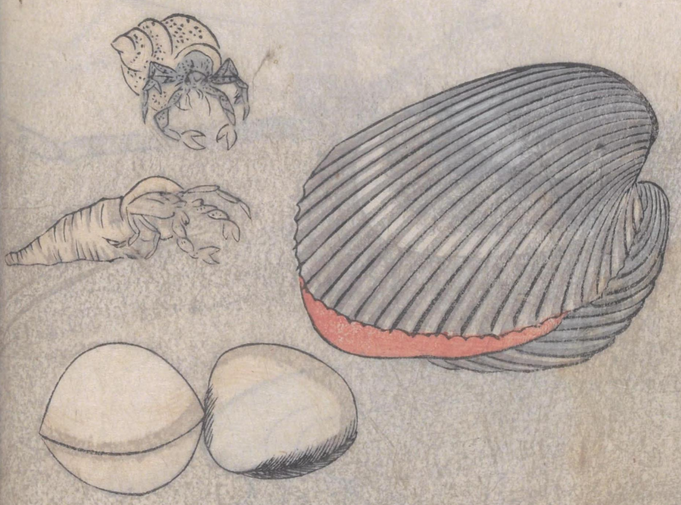
川海を乃まや伸玄
五んまの月 和水

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

見よ海老かせ俤や
大の敷見せ玉し
可恵

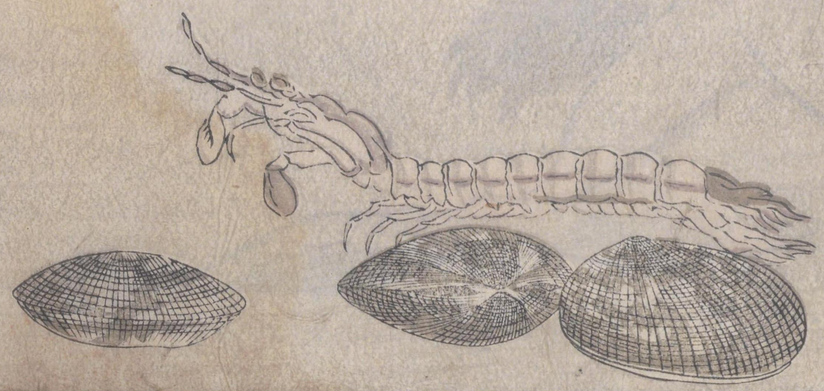
赤貝や蛤もこ乃
まゝけもの
史山

家ごとのやりて八
拾よ　巨山
寄居虫うり



貝拾よ妻や　素遊
汐も紀満ち戸てく

身も貝ホ　汀子葉
云ふも夢花生や
亀山



縮緬かゆよせん
深や　井我
なつ衣
貝

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

安武加子や此寒中の腹へ水

従一

鮟鱇や
料理の
時ゝ
初午魚
東林

鮟鱇や
料理の
時ゝ
初午魚
東林

親ふぐん
かうや公法
美を
花慶

あんこうや
人の多くむ法
みのふうう
李曉

触鰒や菓人も　秋集
道具好なもの

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

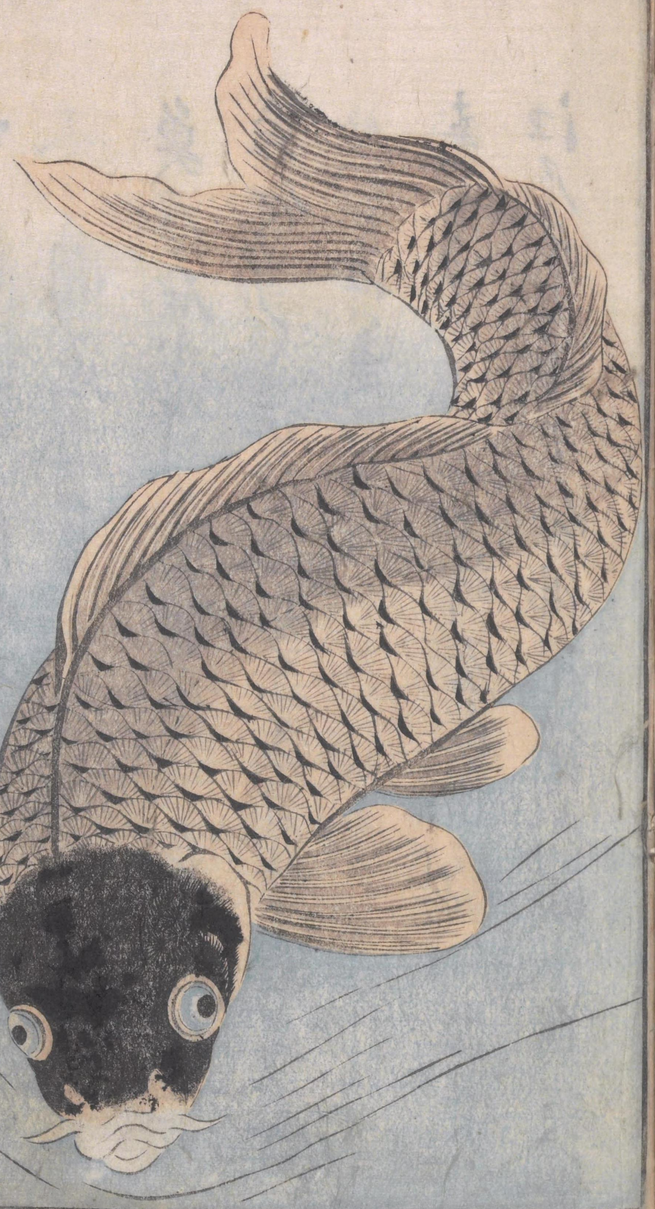
栗堂

子と勢
住吉む
龜
かや
池乃
生ら
姫松

寛麗

萬年松種
まく時も
そ
ら
龜

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227



亀文

滝と見る
鯉を
そねる
川柳

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

108
227

海奥

生ける魚や海ふかき杜守　九井

なら海もめでたき時や人多くく　龍麿

湖魚

奥乃谷小冷しく伸添五郎　得器

魚何くく訪の砂ふみ分ク　立志

江奥

夷共江とも海や柳屋敷き　古梁

江乃魚も曜日念佛を彼岸祝　白英

川魚

細そねたを弥魚八一束法師かも　得友

発ぼうき数や郎乃鮒汁も　一径

池奥

十千の池魚や磐ふ夷共も　素外

みうち共そむ雨共弥池乃柳射　規外

龍宮城

見そこ共八柳さうを風乃魚　素外

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227

108
227

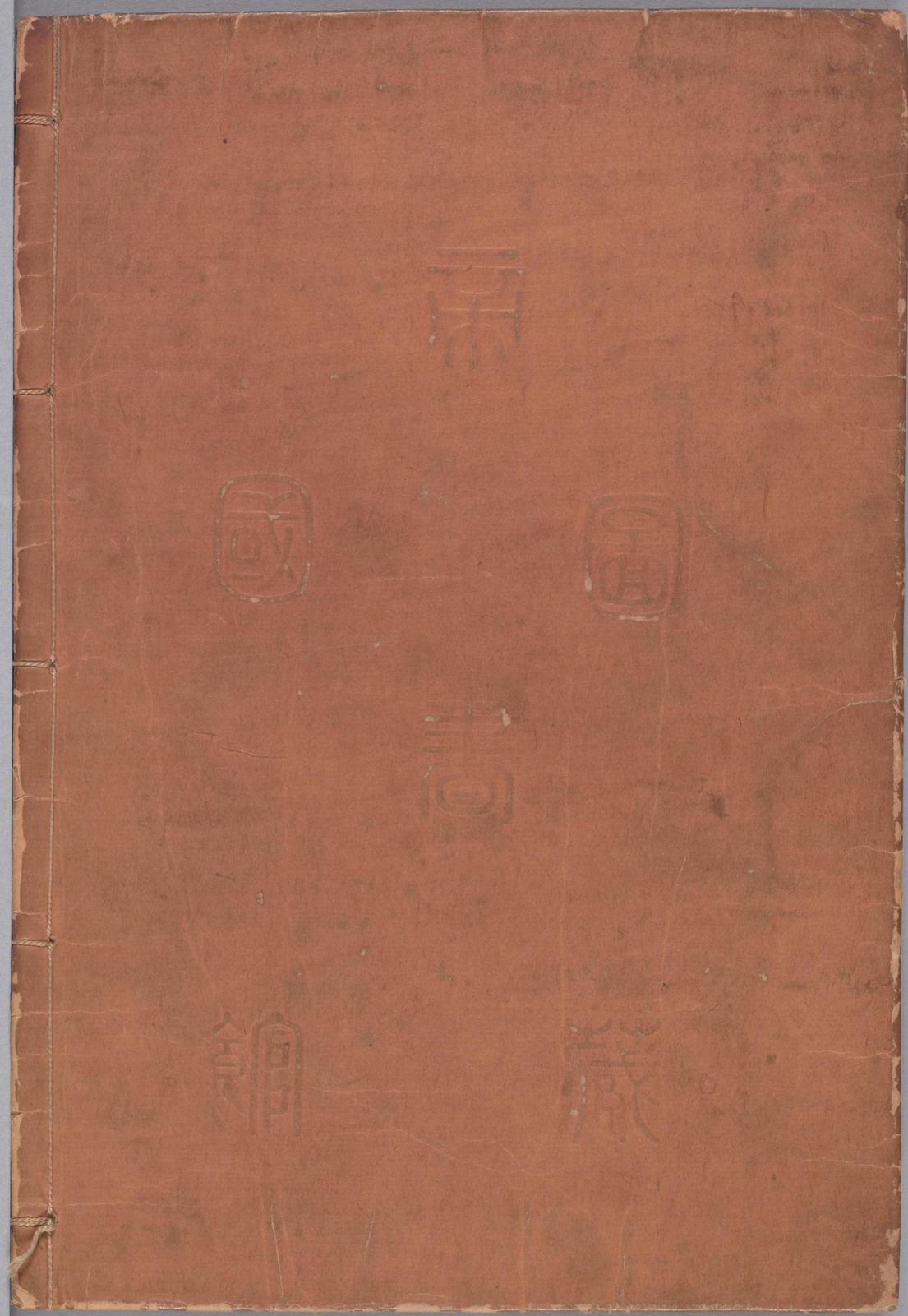
蓼齋漫筆

享和二年壬戌初秋

剞劂　春風堂野代榊湖刀

東都書林　日本橋室町二丁目
須原屋市兵衛板

国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227



国立国会図書館　龍乃宮津子 108-227